令和8年度 第3回 佐久間中学校運営協議会 会議録（要点記録）

1　開催日時　令和8年10月22日（木）　14時30分から16時30分まで
2　開催場所　佐久間中学校 会議室
3　出席委員　守下　武志、奥山　和子、向坂　美保、月花　明生、片倉　美咲
4　欠席委員　村田　しのぶ、澤村　晃央
5　オブザーバー　大見　芳（NPOがんばらまいか佐久間理事長）、長谷川陽子（佐久間図書館）、鈴木　孝（佐久間支所地域振興グループ長）、山本　巌（前運営協議会委員）、笹野　訓子（前運営協議会委員）、
6　学校　廣岡　誠司（校長）、鈴木　政晴（教頭）、森下　奏恵（教務主任）
7　傍聴者　0人
8　会議録作成者　CSディレクター 新間千代子
9　議長の選出

司会の教頭から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、各委員から会長を推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。

10　会議記録

委員総数7名のうち5名の出席があり、会議が成立している旨の報告があった。

11　前回会議の確認（教頭）

別途資料に基づき、教頭より説明があった。

12　熟議

（1）本年度の活動を振り返って　※別途資料に基づき教頭より説明後、熟議

① 二俣地域での職場体験活動（2年）　：初の佐久間外での実施（教頭）
② 佐久間地域での社会体験活動（1年）　：非営利組織の役割理解（教頭）

- 2年生の職場体験実施の6施設は生徒の希望であったのか。（奥山委員）
  →業種が偏らないように候補に挙げた中から選ばせた。宿泊場所から徒歩圏内であることを加味した6か所を設定し、その中から生徒が行きたいところを選べるようにした。（教頭）
- 実施上の条件を満たした上で子供たちに選ばせたということで、強制的に行かせたというわけではないですね。（守下会長）
  →そうです。加えて天竜区内であれば通学バスを無料で利用可能であることが二俣地区を選定した条件の一つとなっている。（教頭）
- 引佐方面も考えられるが、バス代が負担となってしまう。その他、来年はここがいいというところがあればご意見ください。（守下会長）
  →2年生の職場体験について、天竜山の市や二俣のハンバーガー屋さんも候補に入れたらどうか。（片倉委員）
- 職場体験は教員が引率し、宿泊もするのか。（守下会長）

→引率は、学年職員２名が宿泊、男女の職員で対応する。（教頭）

・　これまでの体験学習は、どのようになされていたか。（山本オブザーバー）
→２日間の内訳として、１日目は上島キャンプ場での炊飯実習、２日目はストーンアートづくりを行っていたが、さらに有効に活動できないか検討したところ、修学旅行前の宿泊訓練を兼ねた学習をしておいたほうが良いのではないかということもあり、職場体験を本年度より１泊２日にした。（教頭）

・　キャリア教育にシフトしていく過程としてうまく構成されていると思う。（山本オブザーバー）

・　教員が事前に職場から宿泊所までの地図を作り渡していたという説明があったが、本日校内の掲示物を拝見したところ、修学旅行の事前学習もしっかりできているし、職場体験学習もしっかりまとめているので、もし授業に余裕があれば生徒が事前準備もしたらどうか。（長谷川オブザーバー）

・　職場へはどうやって安全にスムーズに行けるのか生徒が自分で調べるのもよい。（守下会長）

・　天竜区内にどういった職場があるか子供たちはわからないと思うので、職場探しからというのは、少し厳しいのではないか。（笹野オブザーバー）

・　全校生徒１７名の居住地内訳を知りたい。（山本オブザーバー）
→浦川地区６名、山香地区１名、佐久間地区１０名、城西地区０名。（教務主任）

・　佐久間中学校の歴史を鑑みたとき、佐久間町は4つの地区で成り立っている。3年間で4地域をそれぞれ活動の場とするといった考えで教育課程を組んでいた。城西地区の生徒が0人でも佐久間中学生に4地区を知っておいてもらいたい。城西のことを知らない人もいる。飯田線のS字鉄橋はどうしてあの形になったのか、地域の地形や特性について学習することなど、できる範囲で工夫してもらいたい。（山本オブザーバー）

・　１年生の社会体験学習を担当したが、郵便局同様、支所も個人情報が多いため体験学習というより説明が多くなってしまう。生徒にどういった学習を指導したらよいか受け入れの体制も難しく感じた。生徒は、あいさつなどたいへん礼儀正しかった。（鈴木オブザーバー）
→生徒の感想として「放送原稿を作る作業が楽しく、将来就職も考えたい」というものもあった。非営利団体（行政）の意味を教えていただくねらいを反映させていただいた体験ができてありがたかった。（教頭）

・　職場体験の宿泊費用はどうなっているか。（月花委員）
→学年積立金の３年間の学年行事への支出方法を見直すことで、職場体験の宿泊代の多くを捻出できるようにした。若干の値上げで対応できた。（教頭）

・　職場体験で生徒は携帯電話を持参してよいことになっているのか。万が一何かあった場合にどう連絡したらよいか心配している。（月花委員）
→中学生は基本的に持たせていない。市内全域でも同様。修学旅行はグループに1台レンタルしている。（教頭）
・　安全確保という観点から今後の課題となりうるであろう。危機管理の一環として今後検討していただきたい。（守下会長）
・　職場体験については貴重なご意見をいただいたので、それらを含め学校で検討していただきたい。方向性としては、来年もこの活動を継続でよいでしょうか。（守下会長）
→来年度も継続することに同意を得た。

③　個人テーマ別探究活動・終日ST（2，3年）
④　学校支援CD活動報告
・　CD活動で課題として挙げられたアナログな活動が必要となることについてはどうか。（守下会長）
→顔を覚えてもらえるのはよい。この地域ではデジタルではなかなか難しい。（奥山委員、向坂委員）
・　オリジナル弁当の販売について金額はいくらか。（笹野オブザーバー）
→（物価高騰による値上げがあり）650円。（教頭）
・　価格はどれくらいでどういったものができるか、実際販売するにあたって生徒にも考えさせたらどうか。原価がどれくらいか知ることによって、母親が作ってくれるお弁当の価値が分かるのではないか。（笹野オブザーバー）
・　価格等についても生徒に意識を持たせながら工夫していってはどうか。（守下会長）

⑤　教職員の業務量管理について（教頭）
・　業務量軽減に少しは協力できるのではないか。協議会メンバーが協力できることとして提案があった「地域学校協働活動の新年度準備」について、新年度前に地域でこの活動に協力いただけそうな団体、個人に説明をしておくことはできそう。その時点で「参加可能か」の確認が必要か。（守下会長）
→観光協会、漁協組合等の組織の場合、異動があり担当者の変更があるので旧年度中に確認を求めるのは難しい。（教頭）
→参加できるかどうか、ある程度は委員のほうで確認をとるようにしたほうが良いのではないか。（大見オブザーバー）
・　協力依頼文の中に、活動内容の詳細を入れてもらえると助かる。（奥山委員）
・　教職員の業務量管理について、できる範囲で協力していきたい。（守下会長）

13　報告（教頭）

○ 休日部活動の地域展開について

○ 全国学力状況調査結果について

教頭より、別途資料に基づき説明、報告があった。

14　連絡

○ 次回、学校運営協議会自己評価と学校評価について（教頭）

令和9年2月12日（金）　14：30～16：00